

**令和 5 年度第 1 回多摩区支え合いのまちづくり推進会議
意見シート記載内容**

1. 議題（1）第 7 期川崎市・各区地域福祉計画の策定について

内容

支援対象者が三区分に明確に分けられ個人支援に取り組まれているが生活困難者の対応はどのように扱われているのか。また、その部門はどの部署で行われるのかも一言入れてあった方が理解しやすい。

2. 議題（2）第 6 期多摩区地域福祉計画の令和 4 年度評価について

内容

多世代交流でつながる地域づくりについて、とても良いと思いますがもう少し掘り下げてできれば良いと思う。

いろいろな方法で情報の発信やその経過もそれぞれの対象者でまとめられている。手数はかかるが長く続けてほしい。

3. 議題（3）多摩区の現況と第 6 回川崎市地域福祉計画実態調査について

内容

関心が低いように思う。

一般社会の状況からもますます高齢者の増加は続くので、地区にあった援助が必要になり、近所の人々が常に関心を持って接する環境にしておく必要がある。

4. 議題（4）第 7 期多摩区地域福祉計画策定に向けた意見交換

内容

-

5. 議題（5）多摩区地域包括ケアシステムの取組状況について

内容

-

6. その他、ご意見・ご質問等

内容

議題 4, 5 とも同様な考えであるのでまとめて書こうと思う。

多摩区の人口は大きな変化はないが多摩区は農地から商業地・宅地にすっかり変わっている。商業地は大手スーパー・コンビニに、昔からの商店はなくなり店舗併用の店も従業員は通いになり近所づきあひも思うようにできていない。

その中でも高齢者が地域活動に力を注ぎ若手のグループの活動を支援している。その活動グループの特長を地域全体につなげるよう連絡網づくりを援助し、一人ひとりが共生社会の実現に向けて歩まねばならないと思う。

今回初めてこの会議に参加させていただいたが、障害分野に対する意識・認知度の低さを知り、我々の広報、周知の課題を痛感した次第である。改めて、障害者の方々のマイノリティさを考えるいい機会となった。障害とは本人の持つものではなく、環境として人間が生み出すものであって、場合によっては健常者と呼ばれる人々が当事者を障害しているということだと思う。障害者が住みやすくなることは、すべての人が住みやすくなることにつながる。今度は障害者がまちづくりに参加できるような方向性を探るべく、意識をもって参画させていただきたいと、反省を持って臨んでゆきたい。